

- ◎ 8 月下旬以降の断続的な降雨の影響等により、思うように作業が進みませんが、晴れ間を見ながら早めの収穫につとめるとともに、籾の状態に応じた丁寧な乾燥・調製作業をしましょう。
- ◎ また、計画どおり作業が進まず、気持ちがあせりがちになりますが、農作業事故には十分気をつけて下さい。

〔今後の管理対策のポイント〕

事前対応

- ほ場ごとの籾黄化率や倒伏の状況を確認し、収穫する順番を決めましょう。
- 水が溜まっているほ場では、排水溝を入れる等により表面排水を促しましょう。

収 獲

- 倒伏が進んでいる場合は、倒伏程度に応じて、「追い刈り」（株元から穂先が倒れた方向に向かって刈ること）で丁寧に収穫作業を行いましょう。

乾 燥

- 籾水分が高い場合は、生籾が変質しやすいため、収穫後はできるだけ早く乾燥機に張込み、通風して表面の水分ムラを解消してから加温乾燥しましょう。
- 籾水分のばらつきが大きい場合は、胴割れを抑制するため、乾燥機の 2 段乾燥機能等を活用し、水分ムラをなくして仕上げましょう。
- 青米や屑米の混入が多くなると、乾燥後に玄米水分が高まる場合があります。籾の温度が下がってから、必ず手持ちの水分計で仕上げ水分を確認してください。

調 製

- 乾燥直後の籾は、水分のばらつきが大きいので籾すりまで間隔を空け、籾の温度が常温近くまで下がってから籾すりをしましょう。
- 1.9mm 以上のふるい目を使用し、適正な流量で選別を行いましょう。ロール幅を調整し、肌ずれを防止しましょう。
- 未熟粒や着色粒等の被害粒が多く、粒厚選別機による選別では不十分な場合には、色彩選別機を活用して整粒歩合を高めましょう。

農作業安全

- 収穫作業時のコンバインの転倒・転落や、タオル、衣服、軍手などの動力部への巻き込みに十分注意しましょう。
- できるだけ 2 人以上で作業し、やむを得ず 1 人で作業する場合は、行き先を告げるとともに、緊急時に連絡がとれるよう、携帯電話を身にましょ。

盗難防止

- 作業場のシャッターや保管場所は施錠し、防犯カメラをつけるなど、盗難防止対策を強化してください。

点検時は必ずエンジン停止！

急ぐ時ほど、基本を再確認！ 軽微なつまりを取り除く場合でも、必ずエンジンを停止してから点検作業しましょう。